

2019年度 「都市空間のマネジメント論」シラバス

原則水曜6限（18時40分～20時05分）※一部は7限

企画・担当： 瀬田 史彦

□講義の目的

人口減少・経済縮小局面における都市空間のマネジメントのあり方に焦点をあてる。まず、経済の縮小局面においても成立しより魅力的な空間を創出できる都市開発のあり方を学ぶ。次に人口減少局面に特有の都市問題にどのように対処すべきかについて学ぶ。さらに現代の都市空間のマネジメントに欠かせない環境対応について最新の動向を学ぶ。

□講義項目（※日程、講義題目、講師）

日程：原則として水曜日の6限（18時40分～20時05分）

※11月20日と1月15日は6～7限連続（18時40分～21時35分）。

※11月13日と12月11日は、本講義はありません（「都市の公共政策と法制度」が2時限連続）。

9/25	6限	瀬田	11/20	6・7限	饗庭
10/02	6限	西郷	11/27	6限	遠藤
10/09	6限	西郷	12/04	6限	小林
10/16	6限	野口			
10/23	6限	松本	12/18	6限	小林
10/30	6限	遠藤			
11/06	6限	松本	01/08	6限	酒本
			01/15	6・7限	大野
			01/22	6限	野口

講義題目・講師：

1. 縮小経済と都市開発の新しい方向性（遠藤薫・西郷真理子・野口秀行）
（中心市街地活性化、「身の丈再開発」、都市開発の事業手法など）
2. 人口減少局面の新しい空間管理（饗庭伸・酒本恭聖・松本昭）
（空き地・空き家の利活用、市街地の集約化、公民連携（PPP）の地域経営など）
3. 新世代の都市環境政策（大野輝之・小林光）
（地球温暖化対策、国・自治体の環境対策、環境アセスメントなど）

□理解すべき事項

人口減少・経済縮小が進み、またより一層の環境対応が求められる現代の都市空間のマネジメントのあり方について、まず一般論を理解する。次に、先進事例の仕組みを学ぶことで具体的な対応方法を理解する。

□成績評価

出席と期末のレポートによって評価する。